

神の国の奥義(6)

＝神の国での私たち④＝

1. 贖われた花嫁＝ルツ＝

- ① 破産したナオミ(ルツ記 1:21)。(ナオミとは心地よいの意味)
- ② 大麦の刈り入れ時にベツレヘムに到着する(同 1:22)→初穂の刈り入れ(大麦)は過ぎ越しから3日目＝復活を表す
- ③ ボアズはベツレヘムの資産家で(2:1)、異邦の女ルツに対して厚意を示し、ルツは慰めを受け(2:13)、パンを飽き足りるほどに食べる(2:14)、さらに落穂をあえて残す配慮(2:15; cf.マタイ 15 章のカナンの女)
- ④ ルツ、ボアズの足元に、彼の衣に身をくるみ、横たわる(3:5-8)
- ⑤ ボアズ、筆頭権利者からナオミの資産を買い取る(4:9)
- ⑥ ルツ、新しいいのちを宿す(4:13)→オベデ(使える者の意)→エッサイ→ダビデ→・・・→イエス
- ⑦ ルツは律法の下から贖われた私たち(ガラテヤ 3:13;4:5)→律法を行おうとする者は呪われる(3:10) 注意:売買とは正当な行為
- ⑧ 真のボアズはキリスト・イエス→私たちのなすべきことは御足の元に服すること(cf.マリアとマルタ)
- ⑨ キリストの花嫁は自由とされ仕えるいのちを生む(ガラテヤ 5:1;13)
- ⑩ 究極的には子羊との婚姻に至る(黙示録 21 章)

【暗証聖句】

ルツ記3:9 ルツは答えた。「わたしは、あなたのはしためルツです。どうぞあなたの衣の裾を広げて、このはしためを覆ってください。あなたは家を絶やさぬ責任のある方です。

4:10 また、わたしはマフロンの妻であったモアブの婦人ルツも引き取って妻とします。

ガラテヤ3:13 キリストは、わたしたちのために呪いとなって、わたしたちを律法の呪いから贖い出してくださいました。「木にかけられた者は皆呪われている」と書いてあるからです。

3:14 それは、アブラハムに与えられた祝福が、キリスト・イエスにおいて異邦人に及ぶためであり、また、わたしたちが、約束された“霊”を信仰によって受けるためでした。

5:1 この自由を得させるために、キリストはわたしたちを自由の身にしてくださったのです。だから、しっかりしなさい。奴隷の軛に二度とつながれてはなりません。

5:13 兄弟たち、あなたがたは、自由を得るために召し出されたのです。ただ、この自由を、肉に罪を犯させる機会とせず、愛によって互いに仕えなさい。